

元横綱大鵬 死去

優勝32回 史上最多 72歳

大相撲史上最多となる三十二回の優勝を誇る元横綱大鵬の納谷幸喜（なや・こうき）氏が十九日午後三時十五分、心室頻拍のため、東京都内の病院で死去した。七十二歳。北海道出身。五六年秋場所、本名で初土俵。五九年夏場所の十両昇進を機に大鵬と改名。六一年九州場所で第四十八代横綱に昇進した。二十一歳三カ月での横綱昇進は北の湖（二十一歳二カ月）に抜かれるまで最年少記録だった。



2009年10月、文化功労者に選ばれた元横綱大鵬の納谷幸喜さん

「昭和の大横綱」と称され、同時に横綱に昇進した柏戸の「剛」と大鵬の「柔」は対比され、大相撲の黄金期「柏鵬時代」を築いた。人気は

絶大で、当時、子どもが好きなものを並べた「巨人、大鵬、卵焼き」という流行語も生んだ。優勝三十二回のうち全勝は八回。六連覇二度。

三十一歳目前の七一年夏場所で引退。一代年寄となり、大鵬部屋を創設し、関脇巨砲（おおづつ）らを育てた。○五年に六十五歳定年を迎え相撲博物館の館長に就任。○九年には角界初の文化功労者に選ばれた。

2013年1月19日発行